

高田高校 SSH 通信 82号 Ⅲ期第16号

「第一義」で世界に挑め！

～日本を牽引するイノベーション人材の育成～

新潟県立高田高校 SSH 部

令和8年9月18日

海外英語交流会

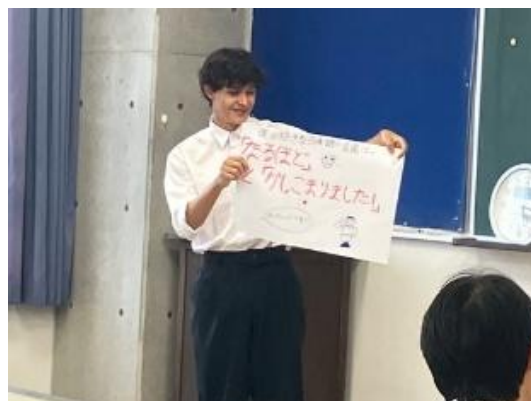
7月6日(月) 期末考査の最終日の放課後に、LL教室でSSH部が企画した「英語海外交流会」を実施しました。上越市内の高校に留学中の3名の留学生から、希望した1、2年生を対象に、彼らの母語に関してのミニ講義を英語で行ってもらいました。

1人目はタイからの留学生で、タイの高校の日本語科で日本語を勉強してから10ヶ月間上越高校に留学していました。タイ語の発音は難しかったのですが、みんなで発音練習をし、男女で語尾が変わることも教えてもらいました。また文字が漢字ともアルファベットとも大きく異なり、黒板に書いてもらいました。下から上に書く動きなど漢字とは異なる書き順にも驚かされました。

2人目は、ドイツからの留学生で、4ヶ月間高田北城高校で剣道部に所属したり、ヴァイオリンを上越交響楽団から借りて一緒に演奏したりと様々なことに挑戦しました。メキシコがルーツということもあり、メキシコのスペイン語とドイツ語について10代の感覚でフレーズを選んで教えてもらいました。スペイン語も男女で語尾が変わると教えてもらいました。日本語も入れると、4カ国語話せるとのこと、さまざまなルーツの人たちが行き来するヨーロッパの雰囲気を味わうことができました。

最後はアルゼンチンからの留学生で、3月末に来日し、12月まで上越高校で留学をしています。アニメが好きで子どもの頃から日本に来ることが夢だったそうです。アルゼンチンのスペイン語を紹介してもらいました。スペイン語圏はスペインからメキシコ、中南米と広いので、それぞれ違いもあるのだそうです。自分のことをシャイだと言いながらも、丁寧に選りすぐりのスペイン語のフレーズを教えてくださいました。日本語はスペイン語と語順が異なるので、頭の中がごちゃごちゃになってしまいうそうです。

質疑応答ののち、それぞれ3グループに分かれてフリーの交流会の時間を持ちました。高田高校の生徒も熱心に留学生に話しかけ、連絡先を交換する生徒もいて大いに盛り上がりしました。交流会に参加した生徒は、さまざまな文化背景をもつ同年代の生徒が留学を志し、夢を実現して、単身来日し、高校生活を過ごしたことに刺激を受けたのではないのでしょうか？高田高校の生徒が海外に羽ばたくきっかけになれば幸いです。





2学年 海外研修 世和高校生との交流

SSH 韓国海外研修の一環として、7月28日（火）～7月30日（木）に、韓国浦項市（ポハン市）の世和（セファ）高校の高校生10人が高田に滞在し、高田高校2学年の生徒たちと交流しました。

1日目は歓迎会、高田城見学を、2日目は茶道体験、うみがたり見学、書道体験、お別れの会を実施しました。けん玉、茶道の作法、イルカショー、筆の使い方等、韓国の生徒たちは様々な日本文化に触れ、日本への理解を深めました。特にけん玉は大盛り上がりで、休憩時間にも楽しそうに練習していました。

高田高校の生徒たちも、英語、韓国語、ボディランゲージを使って、高田高校や上越市の紹介をしたり、基本的な日本語や書道を教えたりしました。積極的に交流し、お互いの言語、文化、考え方の違いについて多くのことを学びました。

生徒たちはホームステイを通じて、異なる言語、文化で育った同世代の高校生と寝食を共にし、語り合い、絆を深めました。別れの寂しさから涙を流す生徒もいて、生徒たちの心に深く刻まれた貴重な経験となりました。

